

平成 19 年 3 月期 第 3 四半期財務・業績の概況（非連結）



平成 19 年 1 月 26 日

上場会社名 株式会社 ルネサンス

(コード番号:2378 東証第1部)

(URL <http://s-renaissance.co.jp/>)

問 合 せ 先 代表者役職・氏名 代表取締役社長執行役員 齋藤 敏一 TEL : (03)5600- 5312
責任者役職・氏名 取締役執行役員経理財務本部長 渡邊 清

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

- ① 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 無
② 最近会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無

2. 平成 19 年 3 月期 第 3 四半期財務・業績の概況（平成 18 年 4 月 1 日 ～ 平成 18 年 12 月 31 日）

(1) 経営成績の進捗状況 (注) 記載金額は百万円未満の端数を切り捨てて表示しております。

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
19年3月期第3四半期	23,366	(9.2)	1,557	(△17.7)	1,485	(△19.7)	799	(△7.3)
18年3月期第3四半期	21,403	(10.0)	1,892	(14.4)	1,850	(19.1)	863	(△3.0)
(参考)18年3月期	28,783	(10.0)	2,523	(11.0)	2,469	(14.2)	1,211	(0.6)

	1株当たり四半期(当期)純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益
	円 銭	円 銭
19年3月期第3四半期	40 08	— —
18年3月期第3四半期	43 24	— —
(参考)18年3月期	59 23	— —

(注)売上高、営業利益、経常利益、四半期(当期)純利益におけるパーセント表示は、対前年第3四半期増減率であります。

[経営成績の進捗状況に関する定性的情報等]

当第3四半期(平成18年4月1日～平成18年12月31日)におきましては、新規のクラブとして4月に広島県立総合体育館フィットネスプラザ(広島市中区)の業務受託(指定管理者制度)を開始し、6月に名古屋小幡(名古屋市守山区)、山形(山形県山形市)、9月に新富谷(宮城県富谷町)、11月に静岡(静岡市駿河区)、12月にリオワールド岐阜(岐阜県本巢市)の直営5クラブを出店いたしました。なお、契約期間の満了により、11月末日をもって金沢クラブ(石川県金沢市)を閉店いたしました。

また、同業スポーツクラブのM&Aとして、6月に住友商事株式会社の子会社であった株式会社玉島スポーツプラザの全発行済株式を取得したうえ、9月1日付で吸収合併し、その運営する玉島(岡山県倉敷市)、福山春日(広島県福山市)、福山多治米(広島県福山市)、東広島(広島県東広島市)の4クラブを直営化いたしました。

この結果、当第3四半期末のクラブ数は、直営:84クラブ、業務受託:5クラブ、フランチャイズ:1クラブの計90クラブとなりました。

さらに、ヨガ・ピラティスプログラムを中心としたスタジオ単体型新業態「ドゥミ ルネサンス」の展開を開始し、5月に目黒(東京都品川区)、6月に渋谷(東京都渋谷区)の2店舗を出店いたしました。

新規事業への取り組みとしては、平成20年4月から医療保険者(健康保険組合等)に義務付けられる保健指導に対応した商品として、健康診断・食生活診断・パーソナルトレーニングの3つからなる生活習慣病予防プログラム「法人メディカルフィットネス」の提供を開始しております。

また、4月に開始したトラベル事業の商品として、お子様を対象としたスキーキャンプや、クラブ会員を対象としたホノルルマラソンツアーなど、オリジナル旅行を企画・販売して会員に対する付加サービスの提供に努めました。

なお、既存クラブの当第3四半期末会員数は前年同期比2.5%減となりましたが、売上高はパーソナルトレーニングやマッサージなど、会費外収入に対する取り組みを引き続き強化したことにより、前年同期比0.5%増となりました。

また、本年2月からは、スポーツクラブ未経験者や時間のない方など、新たな顧客層を獲得するため、サーキットトレーニング型のジムを「BODY Q't (ボディ キュット)」のブランド名で展開する予定です。BODY Q'tについては、既存クラブ内に付帯する形や近隣にサテライト施設として出店するなど、多店舗展開に向けた準備を進めております。

以上の結果、当第3四半期の売上高は233億66百万円（前年同期比9.2%増）、経常利益は、既存クラブにおける在籍会員数の落ち込みと、出店数の増加に伴う初期費用の増大及び入会者数の立ち上がりの遅れ等により、14億85百万円（同19.7%減）、四半期純利益は7億99百万円（同7.3%減）となりました。

(2) 財政状態の変動状況

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産	
	百万円	百万円	%	円	銭
19年3月期第3四半期	19,203	7,948	41.4	398	21
18年3月期第3四半期	17,083	7,277	42.6	364	62
(参考)18年3月期	16,669	7,626	45.7	380	63

【キャッシュ・フローの状況】

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
19年3月期第3四半期	1,022	△2,757	1,830	424
18年3月期第3四半期	1,588	△1,224	△1,177	746
(参考)18年3月期	2,703	△2,009	△1,954	299

【財政状態の変動状況に関する定性的情報等】

当第3四半期における当社の現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前期末残高（平成18年3月）に比べて1億25百万円増加し、4億24百万円となりました。

当第3四半期における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次の通りであります。

【営業活動によるキャッシュ・フロー】

営業活動による資金の増加は、10億22百万円となりました。これは主として税金等調整前四半期純利益14億8百万円、減価償却費9億84百万円、法人税等の支払額7億4百万円、前受金の減少額2億25百万円、前払費用の増加額1億12百万円などによるものであります。

【投資活動によるキャッシュ・フロー】

投資活動に使用した資金は、27億57百万円となりました。これは主として子会社への短期貸付金による支出16億円、有形固定資産の取得による支出11億8百万円、敷金・保証金の差入による支出8億24百万円、子会社からの短期貸付金回収による収入8億10百万円などによるものであります。

【財務活動によるキャッシュ・フロー】

財務活動による資金は、18億30百万円となりました。これは主として短期借入金純増加額16億円、長期借入れによる収入9億円、配当金の支払額4億49百万円、長期借入金返済による支出2億20百万円によるものであります。

添付資料

(要約) 四半期貸借対照表、(要約) 四半期損益計算書、(要約) 四半期キャッシュ・フロー計算書

以上

[参 考]

平成19年3月期の業績予想(平成18年4月1日～平成19年3月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益
通 期	31,900 <small>百万円</small>	1,800 <small>百万円</small>	900 <small>百万円</small>

(参考) 1株当たり予想当期純利益(通期)45円09銭

[業績予想に関する定性的情報等]

当期(平成18年4月1日～平成19年3月31日)におきましては、既存クラブならびに新規出店クラブの入会獲得の遅れから会費収入等が伸び悩み、売上高で前回(平成18年11月7日)発表の予想を8億円下回る見込みです。また、これに加え、来期に向けての販促費の追加投入と、施設への戦略的な設備投資等により、経常利益で9億50百万円、当期純利益で6億円、前回発表予想を下回る見込みです。

※上記の業績予想は、本資料の発表時現在の将来に関する前提、見通し、計画に基づく予測が含まれております。日本経済、競合状況、株式市況等に不透明な面があり、実際の業績が記載の予測数値と大幅に異なる可能性があります。

[添付資料]

1. (要約) 四半期貸借対照表

(単位：百万円、%)

科 目	当四半期 (平成19年3月期 第3四半期末)	前年同四半期 (平成18年3月期 第3四半期末)	増 減		(参考) 平成18年3月期
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
(資産の部)					
I 流動資産					
1 現金及び預金	424	546	△122	△22.3	299
2 売掛金	546	413	133	32.2	468
3 たな卸資産	555	465	89	19.3	455
4 短期貸付金	—	200	△200	—	—
5 その他	1,123	986	137	13.9	944
流動資産合計	2,648	2,610	38	1.5	2,168
II 固定資産					
1 有形固定資産					
(1) 建物	5,509	4,781	728	15.2	4,663
(2) 工具器具備品	1,005	873	131	15.1	793
(3) その他	1,168	1,075	93	8.7	1,071
有形固定資産合計	7,684	6,730	953	14.2	6,528
2 無形固定資産	517	477	40	8.4	474
3 投資その他の資産					
(1) 敷金・保証金	6,860	5,323	1,536	28.9	5,340
(2) その他	1,506	1,954	△447	△22.9	2,170
貸倒引当金	△12	△12	—	—	△12
投資その他の資産合計	8,353	7,265	1,088	15.0	7,497
固定資産合計	16,555	14,472	2,082	14.4	14,501
資産合計	19,203	17,083	2,120	12.4	16,669

(単位：百万円、%)

科 目	当四半期 (平成19年3月期 第3四半期末)	前年同四半期 (平成18年3月期 第3四半期末)	増 減		(参考) 平成18年3月期
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
(負債の部)					
I 流動負債					
1 支払手形	239	272	△32	△12.1	187
2 買掛金	218	122	96	79.4	128
3 短期借入金	4,770	3,452	1,318	38.2	3,020
4 前受金	706	785	△79	△10.1	905
5 賞与引当金	205	190	15	8.2	384
6 その他	1,901	1,987	△86	△4.3	1,772
流動負債合計	8,041	6,809	1,232	18.1	6,398
II 固定負債					
1 長期借入金	2,170	1,985	185	9.3	1,640
2 退職給付引当金	456	374	82	22.0	398
3 役員退職慰労 引当金	—	100	△100	—	105
4 その他	587	535	51	9.6	500
固定負債合計	3,213	2,996	217	7.3	2,644
負債合計	11,255	9,805	1,450	14.8	9,043
(純資産の部)					
I 株主資本					
1 資本金	2,210	—	—	—	—
2 資本剰余金	2,146	—	—	—	—
3 利益剰余金	3,588	—	—	—	—
株主資本合計	7,945	—	—	—	—
II 評価・換算差額等					
1 その他有価証券 評価差額金	3	—	—	—	—
評価・換算差額等合計	3	—	—	—	—
純資産合計	7,948	—	—	—	—
負債、純資産合計	19,203	—	—	—	—
(資本の部)					
I 資本金	—	2,210	—	—	2,210
II 資本剰余金					
1 資本準備金	—	2,146	—	—	2,146
資本剰余金合計	—	2,146	—	—	2,146
III 利益剰余金					
1 利益準備金	—	69	—	—	69
2 当期末処分利益	—	2,848	—	—	3,196
利益剰余金合計	—	2,918	—	—	3,266
IV その他有価証券評価 差額金	—	2	—	—	2
資本合計	—	7,277	—	—	7,626
負債、資本合計	—	17,083	—	—	16,669

2. (要約) 四半期損益計算書

(単位：百万円、%)

科 目	当四半期 (平成19年3月期 第3四半期)	前年同四半期 (平成18年3月期 第3四半期)	増 減		(参考) 平成18年3月期
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
I 売上高	23,366	21,403	1,963	9.2	28,783
II 売上原価	20,677	18,468	2,208	12.0	24,826
売上総利益	2,689	2,935	△245	△8.4	3,956
III 販売費及び 一般管理費	1,132	1,042	89	8.6	1,433
営業利益	1,557	1,892	△335	△17.7	2,523
IV 営業外収益	39	51	△11	△23.2	67
V 営業外費用	111	93	18	19.8	120
経常利益	1,485	1,850	△365	△19.7	2,469
VI 特別利益	0	2	△1	△75.4	2
VII 特別損失					
1 減損損失	16	307	△291	△94.7	307
2 その他	61	51	9	19.3	59
税金等調整前 四半期(当期)純利益	1,408	1,493	△85	△5.7	2,104
税金費用	608	630	△22	△3.6	893
四半期(当期)純利益	799	863	△63	△7.3	1,211

3. (要約) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

区 分	当四半期	前年同四半期	(参考)
	(平成19年3月期 第3四半期)	(平成18年3月期 第3四半期)	平成18年3月期
	金 額	金 額	金 額
I 営業活動によるキャッシュ・フロー			
税金等調整前四半期（当期）純利益	1,408	1,493	2,104
減価償却費	984	860	1,183
減損損失	16	307	307
売上債権の増加額（△減少額）	△70	0	△55
たな卸資産の増加額	△93	△47	△38
前払費用の増加額	△112	△34	△74
前受金の減少額	△225	△248	△128
その他	△152	144	269
小 計	1,753	2,476	3,568
利息及び配当金の受取額	3	8	9
利息の支払額	△30	△34	△48
法人税等の支払額	△704	△861	△826
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,022	1,588	2,703
II 投資活動によるキャッシュ・フロー			
有形固定資産の取得による支出	△1,108	△1,436	△1,969
有形固定資産売却による収入	4	1,114	1,114
敷金・保証金の差入による支出	△824	△893	△1,140
子会社への短期貸付金による支出	△1,600	—	—
子会社からの短期貸付金回収による収入	810	—	—
その他	△38	△8	△14
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,757	△1,224	△2,009
III 財務活動によるキャッシュ・フロー			
短期借入金純増加額（△純減少額）	1,600	—	△300
長期借入れによる収入	900	—	—
長期借入金返済による支出	△220	△678	△1,155
配当金の支払額	△449	△499	△499
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,830	△1,177	△1,954
IV 現金及び現金同等物の増加額（△減少額）	95	△812	△1,259
V 現金及び現金同等物の期首残高	299	1,559	1,559
VI 合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	29	—	—
VII 現金及び現金同等物の第3四半期末（期末）残高	424	746	299